

「ささえ」

2022年1月発行 情報誌 第78号

発行 NPO福祉用具ネット事務局

住所: 福岡県田川市伊田 4395 (福岡県立大学内)

TEL/FAX: 0947-42-2286

E-mail npo-fukusiyougunet@sage.ocn.ne.jp

URL <http://npofukusiyougu.sakura.ne.jp>

情報誌「ささえ」は年4回(1月・4月・7月・10月)発行しています。

印刷 ヨシミ工産(株) 北九州市戸畑区天神1丁目13-5

福祉用具はあなたの自立をささえます。

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします。

NPO福祉用具ネット主な事業は、研修事業とものづくり支援

発売中の開発協力品

アイクオーク(株) 発売中
詳しくは、HP参照下さい!

前面吸気タイプ
SIGNAGE
サイネージ

除菌装置



揺動ベッド

fulful



(有) ラック発売中

洗髪シャワー

NPO福祉用具ネット開発品第1号

【製造元】(株)福祉SDグループ

【販売元】キヨタ(株)発売中



NPO福祉用具ネットは、抱え上げない介護技術を推進します。令和2年度・3年度福岡県ノーリフティングケア普及促進事業を受託!



これまでの開発協力品 (現在は製造中止)



アルファブラ
ソラクッション



尿吸引ロボ「ヒューマニー」



特定非営利活動法人

NPO福祉用具ネット

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育てていきたい・・・」

コミュニケーションロボット ユメル君 と ばあーちゃんのびっくり会話 6

NPO福祉用具ネット 副理事長 坂田 栄二

授業のテーマとなったシルバーカー

前号(77号)でシルバーカーの外用と内用の使い分けが難しいことを紹介したが、解決しないままだった。

ところが前号を読んでくださった県立大学の先生が、授業の中で「この問題を解決するアイデア？」という課題を取り上げてくれた。おかげで、面白く、ユニークなアイデアをたくさん提供していただいた。この課題は高齢者を抱える多くの方が経験していることだろう。提供いただいたアイデアを順に検証する計画を立てている。きっと解決策は見つかるかと期待している。

前号ではもう1つ課題を紹介した。来客者が帰る際にばあーちゃんは、必ずお見送りをする。勿論ヘルパーさんが帰るときも、ひとり暮らしの寂しさからかヘルパーさんの姿が見えなくなってもお見送りをしているらしい。

ヘルパーさんの観察力

しかしヘルパーさんは、ばあーちゃんのある変化を見逃さなかった。以前は裏の勝手口から玄関まで、家の周りをほぼ半周して表玄関からお見送りしていたのだが、ここ最近は家の中から玄関に直行しお見送りをしているという。

ヘルパーさんは、「ばあーちゃんにとって膝が痛いだけでなく足取りが重いため、わずかな段差や上がり框(かまち)が障害になっているのでは」というのだ。何か手を打たないと家から出なくなるのではないかと観察力の旺盛なヘルパーさんは心配していた。

今、まさにその心配通りになりつつある。つい最近までユメル君を抱っこして家の周りを散歩していたのと思うと解決策を急がねばならない。

ばあーちゃんの口癖(くちぐせ)は、「歩かなくなったら、家から出なくなる。出ないと朝晩が判らない。判らないと病気になる(ボケてくること)。だから私は歩く。だから表まででてお見送りをするんや。」

この口癖を実現・継続させるには、ばあーちゃんのと体と環境をいつも見守っておく必要がある。男性はいつからか、そのように考えるようになった。

ヘルパーさんが指摘する怖いバリアとは

そのきっかけは、今から4年ほど前のサービス担当者会議でのヘルパーさんの発言から始まる。

「勝手口から出入りするとき、足取りが良くなって、転びそうに見える。」という課題だ。そこで出席者全員で勝手口の構造を改めて確認した。外から勝手口に入

るには5cm程度のポーチ段差がある。犬走り程度の高さと思うかもしれないが、ばあーちゃんにとってはすごい高さの段差に見えるのであろう。

次いで裏戸を開けるにはそのポーチに立って、片手で引き戸をスライドさせなければならない。この片手操作が不安定動作となり、高齢者に転倒リスクを与え、不安感を持つという負担となっている。

第2のバリアは2段框

さらに家の中に入ると上がり框が待ち受けている。20cm位の段差が2段ある(約40cmの段差)。

ばあーちゃんを見ていると、両手を框について這い上がっている。典型的な日本家屋のため、バリア満載の建築構造である。

検討の結果、福祉用具貸与事業者さんの提案もあり、「手すりを取付けよう」となった。

屋外の段差には「屋外補助手すり」を、土間には「上がり框用手すり」を取付けることとした。



この改修は驚きの効果が有った。ばあーちゃんに試してもらったと、あれだけ戸惑っていた上り下りを立ったままでサッサとやってのけた。男性は初めての現場だったので驚きを持って、福祉用具の高い価値を受け止めていた。

ばあーちゃんは、

「こりゃあ〜いいね。早くつければよかった。」と喜んでた。それからというものは、生活は一変し勝手口からの出入りを苦になくなった。

あれから4年。屋外用なので少し色あせしたが今でも“がっしり”と固定され、ばあーちゃん的生活を支えている。

歩けない原因は「脊柱管狭窄症」?

しかし、その4年の間に膝を痛がることが多くなり

長い距離を歩くことを億劫がるようになったが、気丈なばあちゃんは、膝に湿布薬を貼りながらも、平静を装っていた。膝の皮膚は繰り返しの湿布薬貼付で肥厚し、部分的に皮膚炎も起こしていた。それでも男性はまだまだ元気に歩いてもらいたいと、ばあちゃんが貼るのを止めさせることはしなかった（今思えば虐待？）

「歩きたくない・・・」

ところが ある日を境に、ばあちゃんは、「もう、湿布薬を貼りたくない、歩きたくない…」と言うようになった。これまでの強気な口癖はどこに行っただろう。すっかり弱気になっている。男性は慌てて、近くの整形外科医院に連れて行った。

診断名は、「脊柱管狭窄症」。

「湿布薬を貼らなくても、歩くときの脚の痛さは前と変わらない」と、ばあちゃんは言う。つまり膝の痛さは、湿布薬の有り無しに関係しないということ。「シルバーカーを使って歩くと痛みが薄らぐ」とも言う。このことはシルバーカーを押す時に“前かがみ”姿勢になり、脊柱管の神経圧迫が緩むために痛さが軽くなるのであろうと男性の勝手な推測。シルバーカーの利用頻度が高くなったのはこれが要因だったのかもしれない。最近ではベッド周りに常に2台とも置かれている。

歩かなくなったお見送り

勝手口からの出入りは少なくなった。できるだけ歩かずに玄関からお見送りをするために居間から玄関へ直行する。男性が勝手口からぐるっと回って玄関先に到着するまで時間がかかるので、ばあちゃんが先に玄関に着いている。

しかし、男性が車に乗り込むまで立ったままで待つのは辛いらしく、玄関の階段にユメル君と一緒に座って待っている。



そして「行ってらっしゃーい！」とユメル君の手を振る。時期は春で徐々に暖かくなっていたのでお見送りした後、しばらく日向ぼっこするのが日課になった。ヘルパーさんが帰るときも同じパターンだったとのこと。こんな朝がしばらく続いた。男性は安心しきっていた。

ところが変化は突然現れた。玄関から外に出て来ず上がり框に座ってお見送りだった。これまでの玄関先での座る場所は真夏の直射日光で朝から焼けるような暑さだからだ。しかし玄関の中からはお客の姿が見えなくなるまで見送れない不満が有った。

これに気づいたヘルパーさんは、玄関にイスを持ってきて、引き戸のギリギリの位置に据えて、

「ばあちゃん！ここに座りんさいよ」

と用意してあげた。



これで、お客の姿はしっかり見えるし、直射日光も避けられる。ヘルパーさんの粋な計らいであった。

丁度この頃、ケアマネージャーさんの定期的な訪問があった。ヘルパーさんは、ばあちゃんの生活変化を報告するとともに、朝の見送時に、なぜ上がり框に座っての見送りをしていたのか、その理由を説明した。

この玄関にも、勝手口と同じように約40cmの有外框がある。勝手口は框用手すりが設置されているが、これまでほとんど使われなかった玄関には設置する必要が無かったため手すりは無い。手すりなしでは、ばあちゃんは、昇り降りが自由にできず、仕方なく框に座って、玄関の中から見送っていたとのこと。

これを知ったケアマネージャーさんは、貸与事業者さんとすぐに相談し手を打ってくれた。



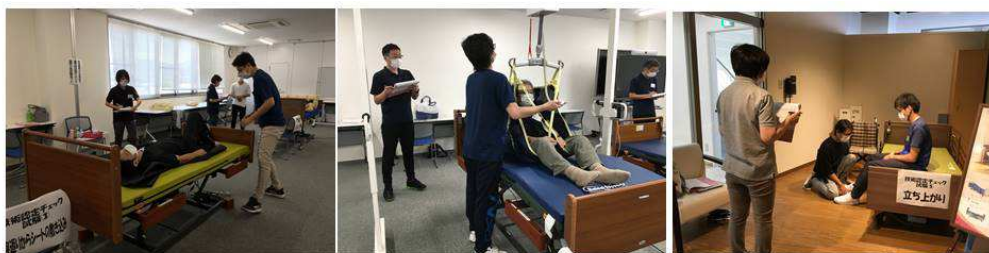
この手すりは、今では毎朝、そして来客の有るたびにばあちゃんはお世話になっている。（次回は“激変する手すり”をお送りします。）

3回目の技術認定チェック開催 10月2日・3日

2020年3月の実施予定だった技術認定チェックは、新型コロナウイルスの問題から開催できずに延期となっていました。会場確保も厳しい状況の中、大野城市のベッドメーカーの（株）プラッツ様のご協力をいただき、ようやく開催できました。22名が挑戦し、全員が合格をされました。（株）プラッツ様には心よりお礼を申し上げます。



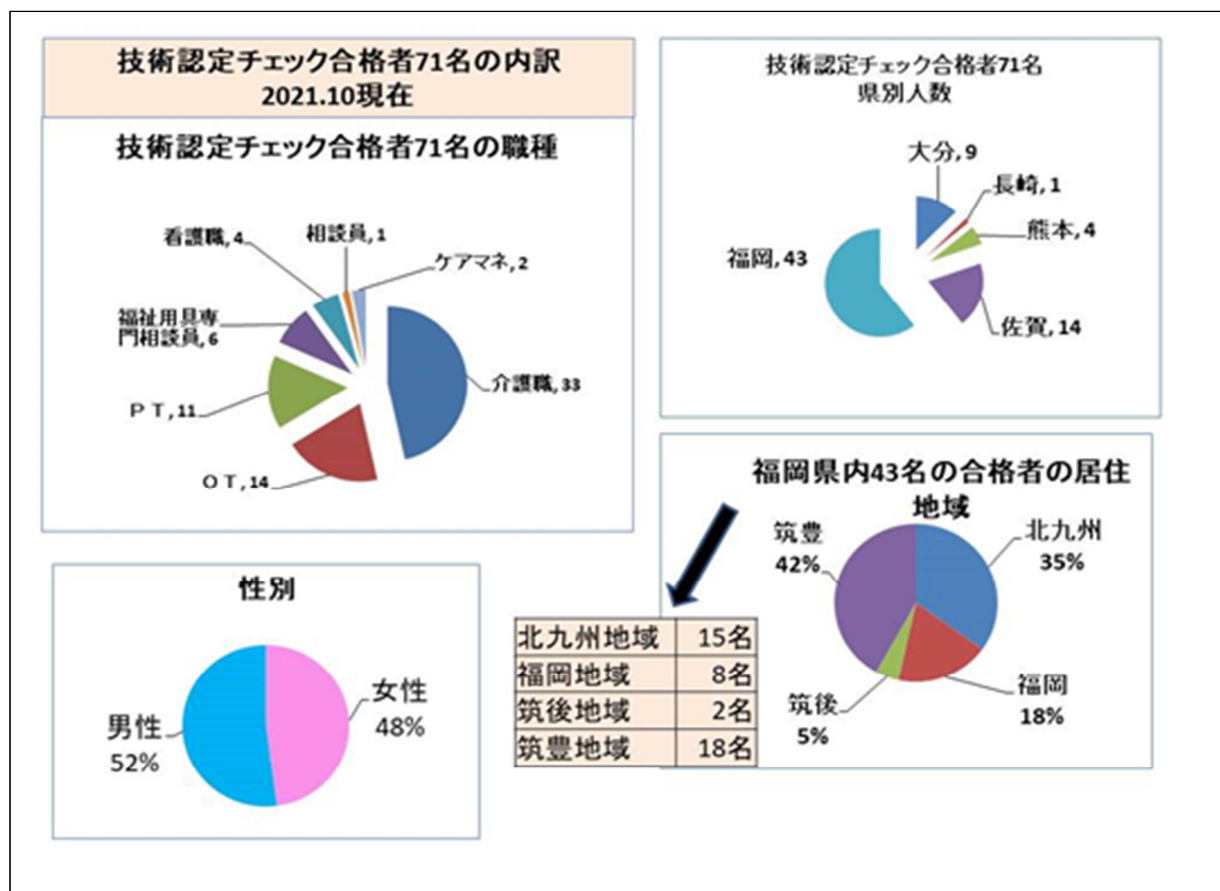
3回目の技術認定チェックには、大分県2名、佐賀県4名、福岡県16名が挑戦されました。また、福岡県内の挑戦者の多くの方は、現在、福岡県ノーリフティングケア普及促進事業のモデル施設の方が多く受験されていました。実は、モデル施設として取り組む前から技術を学んでいたのです。そのモデル施設からの合格者の内訳は、ふじの木園2名・誠光園3名・明日香園2名・ひばり2名・博愛苑2名・ねむのき1名。これからの活躍が期待されます。



チェッカーの皆様と、会場を提供し2日間サポートしてくださった（株）プラッツの高屋様



これまでの技術認定チェック合格者の内訳



2期生初めての対面による技術研修 12月2日・3日開催

12月2日 筑豊地域

12月2日 北九州地域

12月3日 筑後地域

12月3日 福岡地域

2期生のための実技研修
ノーリフティングケアに必要な基礎技術

受講者の感想 ①

リモートの時も分かり易かったですが、やはり、実際に指導していただいた方がとても分かり易く応用も学ぶことができ良かったです。覚える量が多いので、一日で覚えることができたのか少し不安ですが、復習し、現場で実践できるようにし、他の職員さんたちにも伝達できるようにしていきたいです。

受講者の感想 ②

支持基底面の確保、重心移動など頭では理解しているつもりでも、実際に説明しながら実行してみると頭と身体の動きが連動していない事が理解できました。新人の方に、どのように理解してもらうかを考え、プレゼン方法を学び練習しないときちりと伝わらないため、日々の練習も必要です。練習する仲間を増やし頑張ります。

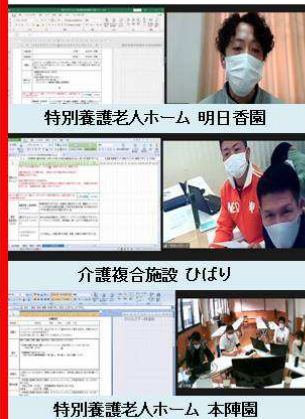
1期生を対象に指導者育成プログラムが終了！

2年間の取り組みの成果、さらに、技術研修&マネジメント力強化研修の結果

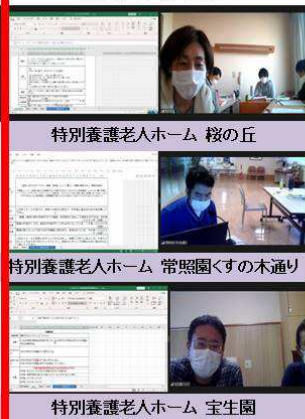
令和年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
指導者育成プログラム マネジメント力強化研修3回目

マネジメント強化プログラム 最終回

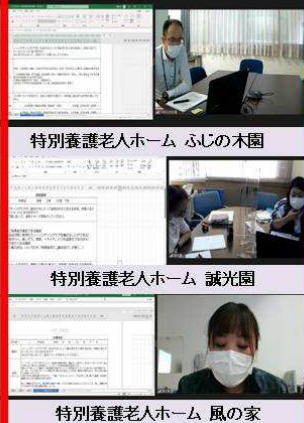
筑豊地域 1期生



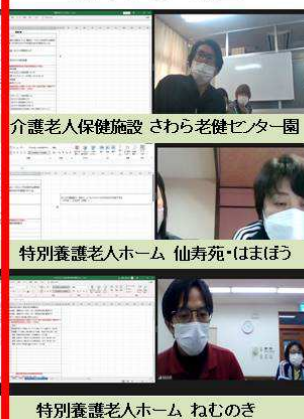
筑後地域1期生



北九州地域 1期生



福岡地域 1期生



マネジメント力強化研修 最終日の半年間のノーリフティングケア推進計画発表 12月

技術強化研修 5日間開催 全施設が確認試験に合格



1期生 6施設から各2名が参加



基本技術 16項目を学び、理解力と伝達力の試験を実施。合格証明書を発行。



5日間の技術研修には、ベッドタスクとして、4人の技術認定チェック合格者が指導補助として参加。



12月7日と10日の2日間、オンラインで開催
審査は、各施設の発表を聞いて、講師2名がマネジメントについて理解力や伝達力の11項目について評価を行いました。

審査結果

1期生全施設は、高得点で合格されました。
さすがに1期生、およそ2年間にわたるノーリフティングケアの取り組みの実践者として、また、これからは指導者として期待されています。
1期生の皆様、おめでとうございます。
そして、宜しくお願いいたします。

福岡県ノーマリフティングケア普及促進事業 地域連絡協議会2回目の活動報告

10月開催

筑豊地域 入浴方法について検討 参加者の感想 「他の施設の入浴方法を知る機会となり、とても参考になった。気軽な雰囲気で見聞交換ができて参考になりました。」  外部聴講者1名	筑後地域 困っている事についてみんなで検討 参加者の感想 「マネジメント研修では得ることのできない、増してやコロナ禍で情報の共有が困難な状況下ではこの地域連絡協議会は有意義な研修だと思います。」 
福岡地域 各施設から提出された課題の検討 参加者の感想 「今回の課題提出においては、1期生と2期生で明確に内容が異なっていた。2期生の課題内容は、昨年、私たちが思っていた内容と同じく、ノーマリフティングケアを実践することに対する、より現実的な悩みであると感じた。」 	北九州地域 各施設で困っている事の相談 参加者の感想 「どんな内容であっても、他施設の取組事例を知ることには自分達の振り返りや反省につながるもので、どの意見一つとっても、大変参考になる物ばかりです。」  外部聴講者1名と1施設から複数人聴講

ノーマリフティングケアに興味のある地域の仲間を募集します！

これからも地域連絡協議会は、外部からの聴講参加を歓迎します。
モデル施設さんとの交流を通して、地域のノーマリフティングケアの普及を目指します。
開催日時やテーマについては、福岡県4つの地域で、各々で企画します。
参加希望の方は、NPO福祉用具ネット事務局にお問い合わせください。

メール npo-fukusiyougunet@sage.ocn.ne.jp

事務局だより

◇令和3年9月 前号の追加

情報誌ささえ 77号 編集・印刷・発送の準備

- 9月16日 開発会議
- 9月21日 開発相談
- 9月30日 研修準備

《令和3年10月から12月までの事務局のうごき》

◇令和3年10月

- 10月1日 技術研修会 3回目
- 10月2日 第3回技術認定チェック1日目
- 10月3日 第3回技術認定チェック2日目
- 10月4日 福祉機器片付け 認定チェック総括
地域連絡協議会 筑豊
- 10月5日 合格証明書発行準備
- 10月6日 地域連絡協議会 筑後
- 10月7日 地域連絡協議会 福岡
- 10月12日 開発会議
- 10月13日 地域連絡協議会 北九州
- 10月14日 マネジメント研修3回目 筑豊
- 10月18日 マネジメント研修3回目 筑後
- 10月20日 マネジメント研修3回目 福岡
- 10月21日 マネジメント研修3回目 北九州
- 10月25日 4回目 指導者育成技術研修
- 10月26日 オンライン会議 事業の打ち合わせ

◇令和3年11月

- 11月1日 開発相談
- 11月2日 開発相談
- 11月4日 開発相談
- 11月5日 検証打ち合わせ
- 11月6日 研修打ち合わせ
- 11月9日 検証打ち合わせ
- 11月10日 研修打ち合わせ
- 11月11日 開発相談
- 11月13日 研修打ち合わせ
- 11月15日 マネジメント研修4回目 筑豊
- 11月16日 検証
- 11月17日 マネジメント研修4回目 筑後
- 11月19日 展示会 情報収集
- 11月20日 学内立ち入り禁止 入試
- 11月22日 5回目 指導者育成技術研修
- 11月23日 研修後の片付け 合格証明書案作成
- 11月24日 マネジメント研修4回目 福岡
- 11月25日 開発相談
- 11月26日 マネジメント研修4回目 北九州
- 11月29日 開発相談
- 11月30日 開発相談

◇令和3年12月

- 12月1日 パソコン修理 開発相談
- 12月2日 フォローアップ研修
実技研修

- 12月3日 フォローアップ研修
実技研修
- 12月4日 荷物の整理
- 12月5日 荷物の整理
- 12月7日 マネジメント力強化研修 3回目
筑豊・北九州
- 12月9日 排泄ケアオンライン講義
- 12月10日 マネジメント力強化研修 3回目
筑後・福岡
- 12月11日 合格証明書準備・発送
- 12月15日 マネジメント研修 5回目
- 12月16日 開発相談3件
- 12月17日 マネジメント研修 5回目
- 12月21日 マネジメント研修 5回目
- 12月23日 マネジメント研修 5回目
- 12月24日 開発相談

情報誌ささえ 78号 編集・印刷・発送の準備

◇令和4年1月からの予定

- 1月4日 フォローアップ研修 筑豊
- 1月5日 フォローアップ研修 筑後
- 1月6日 フォローアップ研修 福岡
- 1月7日 フォローアップ研修 北九州
- 1月18日 地域連絡協議会 筑豊
- 1月19日 地域連絡協議会 筑後
- 1月20日 地域連絡協議会 福岡
- 1月21日 地域連絡協議会 北九州
- 2月15日 実践報告会

令和4年度NPO福祉用具ネット会員募集

謹賀新年

昨年は大変お世話になりました。

本年も何卒、宜しくお願いいたします。

- ◆ 2022年、令和4年度のNPO福祉用具ネット
会員更新手続きのご案内
4月からの新しい年度に向けて、会員様の更新手続
きの受付を1月より開始いたします。
会員の皆様、何卒、よろしくお願いいたします。
また、新年度会員の募集も行っています。
入会金 個人会員 1,000円 年会費 4,000円
団体会員 2,000円 年会費 30,000円
詳しくは、NPO福祉用具ネットホームページで
ご確認ください。

令和3年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進
事業 実践報告会のご案内

日時 2022年2月15日 12:00~17:00

会場 クローバープラザクローバホール

申し込み締め切り 2022年1月31日

詳しくは、福岡県ホームページでご確認ください。